

ご利用者様の食べる喜びへの取り組み

～ぼたん園栄養管理科から各部門へ想いをリレー～

熊本県
医療法人博光会
介護老人保健施設ぼたん園
栄養管理科

○入江 ともみ

吉田 文代 淀川食品 職員一同

田邊 史子

黒土 達也 橋口 玲子

ご利用者様の食べる喜びへの取り組み

発表者名：○入江ともみ、吉田文代、田邊史子、黒土達也、橋口玲子

発表者のCOI開示

発表演題内容に関連し、発表者らに開示すべき
COI関係にある企業などありません

取り組みに入るまでの道筋

はじめに

これまで栄養管理としての食事提供は、病態に沿った治療の一環として行っていた。しかし、高齢者施設における栄養管理とは楽しんで食べていただくことのできる食事提供が必要となるということが今回の症例のターニングポイントとなった。

入所者の生活の中心は食事といっても過言ではなく、喜びを届ける仕事をしているのだということを施設側、委託側関係なく分かち合いたいと思いこの症例に至った。

そこで今回、淀川食品株式会社(以下淀川食品)と一丸となり栄養管理科が入所者の喜びのために工夫した点、他部門との連携でさらに喜びを拡大できたと感じた点、それらを実行することで栄養改善に繋がった点をここに報告する。

食べる喜びが落ちた方へのアプローチ

摂取量と摂取 時間に着目

- 食事摂取量が5割以下
- 食事時間が40分以上

ご本人と多職種に 聞き取り

- 形態/量/味付け/食べたい物の調査

食事の変更

- ストレスのない食事量
- 好きなものを取り入れた食事へ

ぼたん園施設医の食事への思い

「年を取ったら好きなものを食べてほしい」



図表 2-8-6-1 生きがい(喜びや楽しみ)を感じる時(問 40)(複数回答)

※「その他」「不明・無回答」以外の選択肢(%)の高い順に並べ替え。

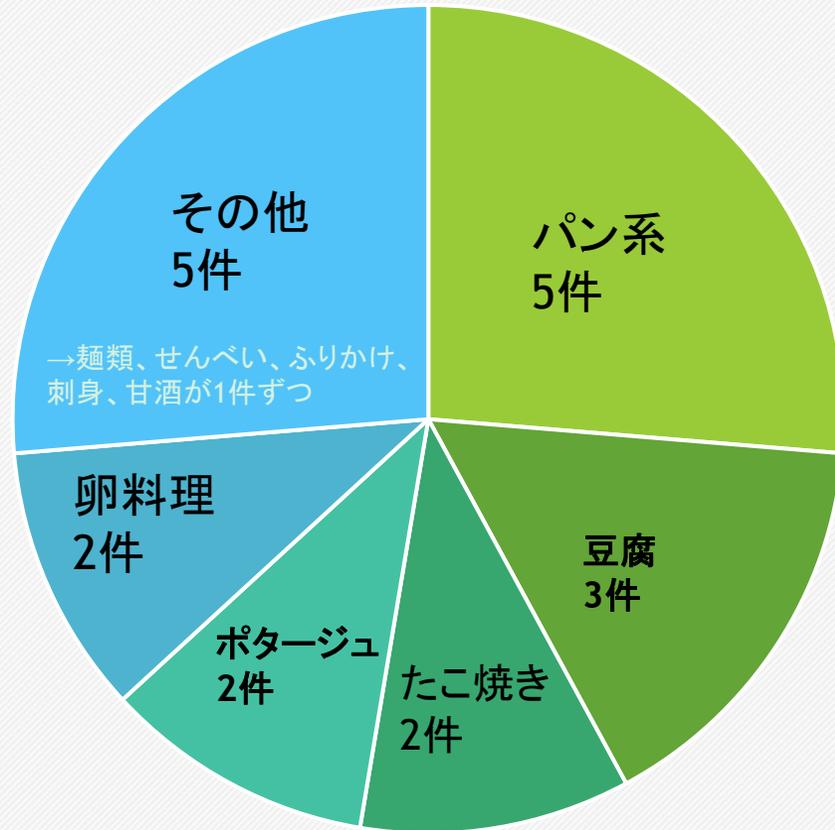
	n	孫などの家族との団らんの時	おいしい物を食べている時	趣味やスポーツに熱中している時	時事、雑談している時	友人や知人と食卓を囲んでいる時	テレビを見たり、ラジオを聞いている時	旅行に行っている時	夫婦団らんの時	他人から感謝された時	仕事に打ち込んでいる時	収入があつた時	勉強や教養などに身を入れてしている時	社会奉仕や地域活動をしている時	若い世代と交流している時	その他	不明・無回答
令和3年	1,783	55.1	54.8	53.5	52.6	43.2	39.8	34.5	31.7	30.9	24.8	16.7	12.5	10.0	1.2	0.7	
平成25年	1,584	48.8	37.1	44.7	41.8	34.8	38.4	30.2	16.9	26.5	10.0	10.4	14.0	13.6	3.1	0.7	

※内閣府 令和3年度 高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査結果より引用

高齢者喜びの上位2位は食事

食欲不振の方への聞き取りアンケート

食べたいものの調査結果



圧倒的にパンが人気！！
嗜好品としてパンを追加！！

色々なパンを食べ
比べました



聞き取りアンケートを踏まえて嗜好品13品目を追加！

① プリン ← 90kcal ← 	② 水ようかん ← 50kcal ← 	③ フルーツゼリー ← 60kcal ← 	⑩ ポタージュ ← 70kcal ← 	⑪ 果物 ← 	⑫ ロールパンや菓子パン ← 
④ 豆腐 ← 50kcal ← 	⑤ 温泉卵 ← 90kcal ← 	⑥ 卵豆腐 ← 60kcal ← 	⑬ 麺類 (そうめん or うどん) ← 		
⑦ アイス ← 100kcal ← 	⑧ 梅干し ← 	⑨ 納豆 ← 70kcal ← 			

バトンをパスするリレーをイメージして食べる喜びに繋がたい

ご利用者様・御幸病院栄養士→ぼたん園栄養士→淀川食品→フロアスタッフ・ご利用者様

事例紹介(連携リレー)

	連携リレー① ぼたん園栄養士→淀川食品①	連携リレー② ぼたん園栄養士→淀川食品②	連携リレー③ 病院栄養士→ぼたん園栄養士	連携リレー④ 淀川食品⇄フロア
介入前	600kcal食事 1割 補助食品 10割	食事に対する意欲低下 数口程度の摂取となる	入院時未摂取(静脈栄養のみ)→栄養士介入にて800kcal 摂取と情報提供	ベット上で全介助対応 食事なく補助食品のみを摂取
対応	形態アップ (経口維持加算介入) 好きなメニューを探索 嗜好品の導入	命のスープを きっかけに少しずつ 他の食事も食べ始める	入院時から行ってきた栄養 管理を情報共有 病院からの対応を引き継ぎ 同じ対応を行う	ケーキは提供可能か淀川食 品栄養士より質問あり、介護 係長と検討し、お誕生日ケー キプレートを提供
介入後	補助食品に頼らず 1200kcal 10割摂取	未摂取から 400kcal摂取	800kcalから 1200kcal 10割摂取	車椅子移乗にて 自力摂取 される。ご自身から『ありが とう』と発語される
			<p>ベッド上での点滴→他の入所様と談笑されるほど元気に過ごされています！！</p> 	  <p>すごく喜んでくれてたよ！ 写真見る？</p>

行事食・命を支えるスープ・誕生日ケーキの提供

“おいしいよ” “いつもありがとう”

素敵な笑顔とお言葉をたくさん頂きました

残食率 10%未満



利用者の喜びを伝達 ➡ モチベーションUP！

喜ばれている方がたくさんいることを淀川食品スタッフにも知っていただきたい！！

やる気への相乗効果



心を込めて作成



まとめ

今回、食べる喜びに繋がった4例。

- ①御幸病院栄養科 → 淀川食品
- ②ぼたん園栄養科 → 淀川食品
- ③御幸病院栄養科 → ぼたん園栄養科

結果：食事摂取量の増加に繋がった。

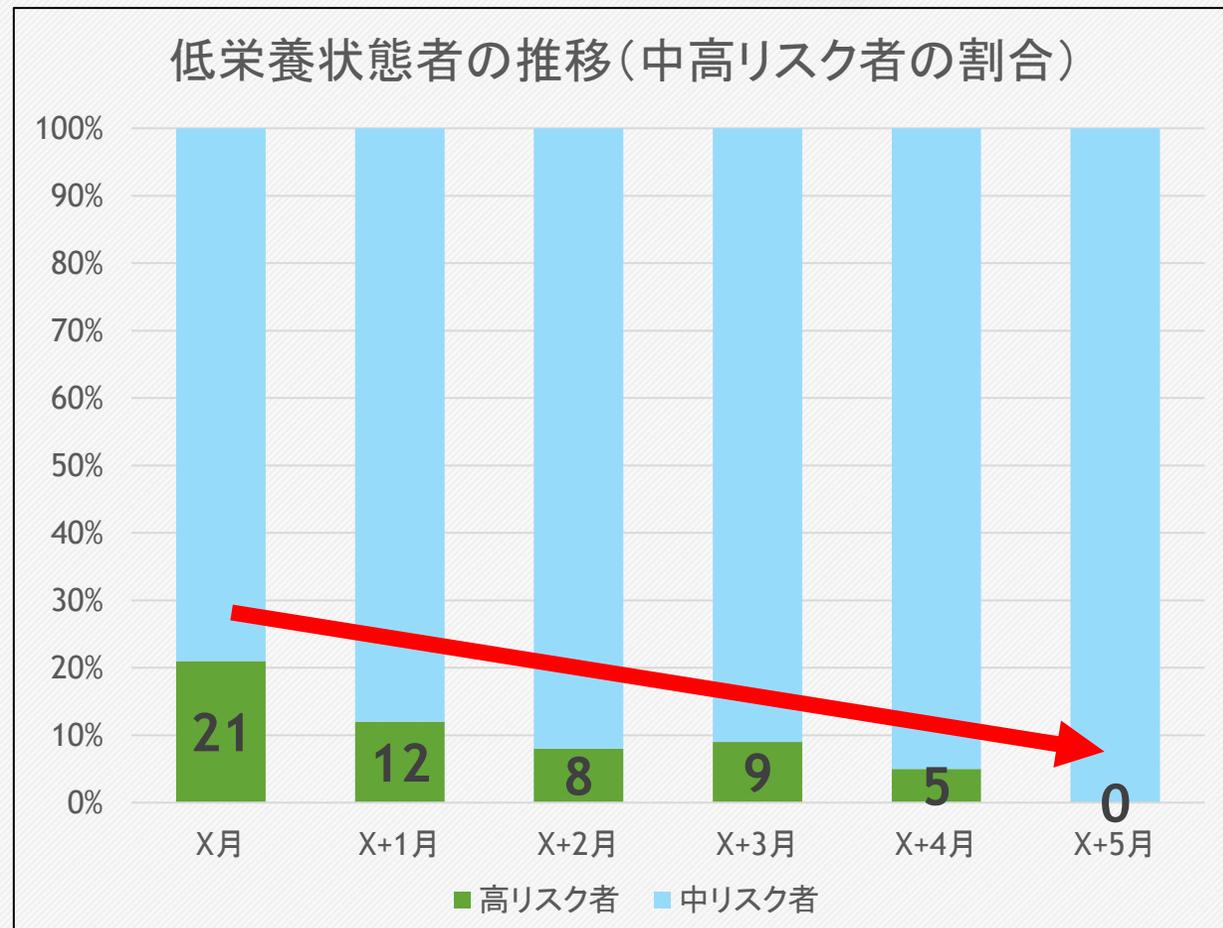
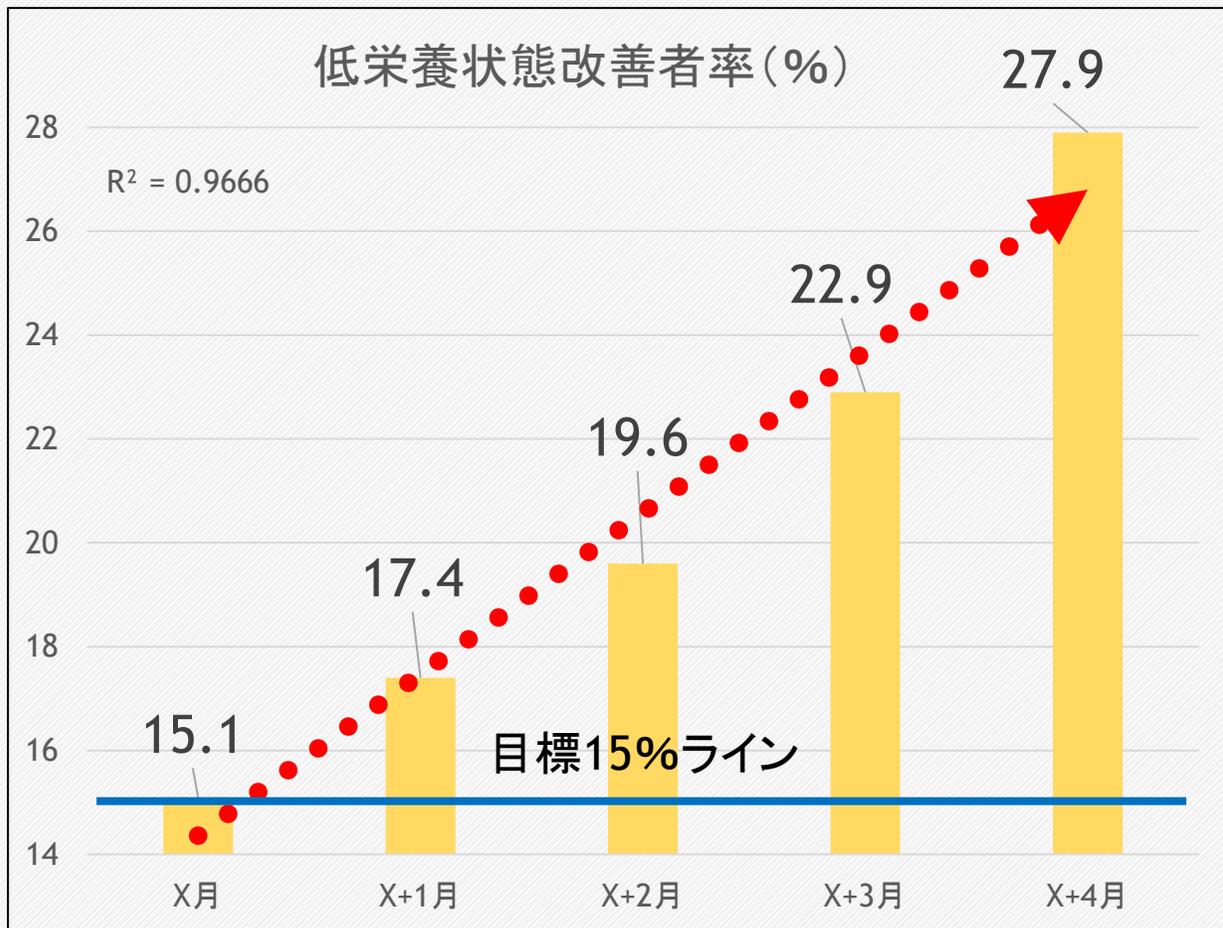
- ④淀川食品 ↔ フロア

結果：喜びを分かち合える機会に繋がった。

その結果！！

低栄養状態改善者減少

【ぼたん園全体目標】
 低栄養状態改善者率 **15%以上**



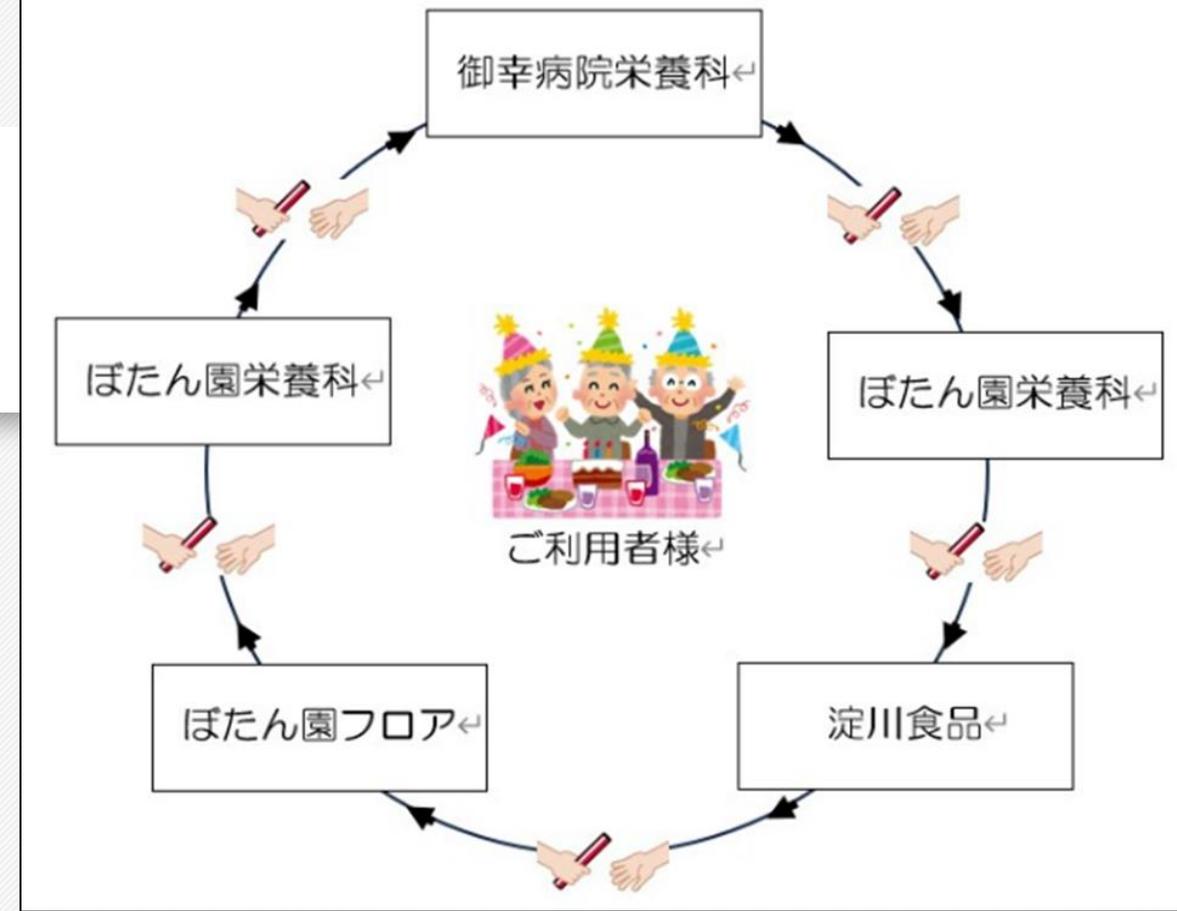
おわりに

今回“リレー”という言葉をよく使用した。
これは、淀川食品の栄養士より
「この方は補助食品のみの提供ですが
ケーキは食べられますか？」と問いかけが
あったことから始まった。

ぼたん園栄養士もその問いがあったからこそ、フロアへ話を持ち掛けるきっかけとなり、フロア看護師からの「喜ばれた様子、写真に撮ってるよ」という言葉もいただける機会となった。

日頃発語されない方が手を伸ばし「ありがとう」と言われた時はとても喜びを感じ、それを実際に作っているスタッフにも感じてもらうことが、ご利用者様の食べる喜びへつながると感じた。

現在は淀川食品栄養士にフロアに同行していただいています。今後も取り組みを強化しながら、続けていきたいと思う。



ご清聴ありがとうございました



参考文献

- 1) 小山 珠美: 口から食べる幸せをサポートする包括的スキル-KTバランスチャートの活用と支援—
- 2) 吉田 貞夫: 高齢者を低栄養にしない—20のアプローチ (事例でわかる基本と疾患別の対応ポイント) 70歳以上の5人に1人が低栄養!
- 3) 日本健康・栄養システム学会: 高齢者の栄養改善、経口移行・経口維持、認知症、エンド・オブ・ライフの栄養ケア・マネジメント—「食べること」を支援するために—